筑摩書房「ちくま現代の国語」（現国 143－901）年間指導計画（シラバス）案

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書・副教材等 |
| 現代の国語 | ２単位 | ○○科○学年○学級 | 筑摩書房『現国143－901　ちくま現代の国語』  準拠ノート『ちくま現代の国語　課題ノート』  （「課題ノート」の扱いについては省略） |

１　学習の到達目標等

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の到達目標 | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

２　評価の観点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の観点 | | |
| a ．知識・技能 | ｂ．思考力・判断力・表現力 | ｃ．主体的に学習に取り組む態度 |
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。 |

３　学習計画及び評価方法等（現国143-902）

| 月 | 単元名 | 単元の目標 | 学習内容（教材） | 配当時間 | 学習活動 | 評価基準・評価方法 | 評価の方法 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a 　（知識・技能）  ｂ　（思考力・判断力・表現力）読・書・話聞  ｃ　（主体的に学習に取り組む態度） |
| 4 | 第１章　問うこと語ること | 問いかける力を伸ばす  【話すこと・聞くこと】 | 私たちにはなぜヒーローが必要なのか？ | 2 | ①本文を参考にしながら、過去の自分にとってどのような人物・キャラクターが「ヒーロー」だったか、ノートに書き出す。  ②数人のグループで、①で書き出した「ヒーロー」について互いに紹介する。その際、なぜその人物やキャラクターが「ヒーロー」と感じられたのか、自分の考えを説明する。  ③グループで紹介し合ったことを基に、「私にとってのヒーロー」というタイトルでスピーチをする。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「ヒーロー」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）「私たちにはなぜヒーローが必要なのか？」を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）「私にとってのヒーロー」というスピーチを通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）「私にとってのヒーロー」について発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  （３）我が国の言語文化に関する事項  ア）「私たちはなぜヒーローが必要なのか？」という問いかけから、実社会との関わりを考えるため、**とりわけ「物語」や「小説」といったフィクションが私たちの生活を支えるために必要不可欠であることを理解し、**読書の意義と効用について理解を深めている。  ｂ　【話すこと・聞くこと】  ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| 4 | 第１章　問うこと語ること | 問いかける力を伸ばす  【話すこと・聞くこと】 | サイエンスの視点、アートの視点 | ３ | ➀「サイエンスの視点、アートの視点」を参考に、自然の中で見つけた驚きや、物語や芸術作品に接して感動したことを書き出す。  ②　➀で挙げたことから、どのような「問い」を立てることができるか、付せんに書き出す。  ③　➀②で挙げたことをグループ内で発表し、興味深い「問い」と興味深いと感じた理由を説明する。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「問い」を立てるということを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）「サイエンスの視点、アートの視点」を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【話すこと・聞くこと】  ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| 4 | 第１章　問うこと語ること | 問いかける力を伸ばす  【話すこと・聞くこと】 | 【実践】「質問する力」を育てよう  【参考】一般化のワナ | １ | 「スピーチQ＆A 」で質問の練習をする。 | a（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「スピーチQ＆A 」を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【話すこと・聞くこと】  ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。  ｃ　「スピーチQ＆A 」に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| ５ | 第２章　ことばは世界をつくる | ことばの働きを確認する  【書くこと】 | ことばとは何か | 2 | ➀日本語にあってほかの言語にはない名詞にはどのようなものがあるか調べ、互いに発表する。  ②他の言語における気象用語に関して、日本語とは「含まれている意味の厚みや奥行きが違う」例をグループで調べ、それぞれ発表する。  ③関心のあるテーマを一つ選び、具体例や比喩を用いて400時程度の文章を書く。書き終わったら互いに発表する。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）言葉について書かれた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。**とりわけ、言語の「差異化」「分節化」という働きについて理解している。**  イ）文章を書く際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【書くこと】  　ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  　イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えると共に、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。  c　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／「ことばとは何か」ということに関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| 5 | 第２章　ことばは世界をつくる | ことばの働きを確認する  【書くこと】 | 境目 | ２ | ➀「～の境目」ということばで表現できる過去の経験や出来事を書き出す。  ②グループ内で書き出した内容を紹介し、発表する。  ③グループで話し合ったことをふまえて、クラスの前で発表する。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「境目」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。**とりわけ、言語が「境界」を生み出すこと、その「境界」が概念や、世界観を形作るということを理解している。**  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）「境目」を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  　イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えると共に、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。  ｃ　教材の内容、他者との関係、自分の「境目」（中学から高校への「境目」など）に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| 5 | 第２章　ことばは世界をつくる | ことばの働きを確認する  【書くこと】 | 羅生門 | ４ | ①読み手に臨場感が鮮明に伝わる報告文（ルポルタージュ）を書くにはどのような工夫が必要か考える。  ②自分の印象に残った体験、あるいは見聞した出来事などを題材に、報告文（ルポルタージュ）を書いて発表する。  ③発表された文章の臨場感について、感想を述べ合う。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「羅生門」という言葉と通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。**とりわけ、下人と老婆との対話を通して、「盗人になるか」「飢え死にするか」という「境界線上」にいた下人が、「境界線」を引き直すことになるのはなぜか、小説の論理の展開を理解している。また、小説の舞台が「境界線上」に描かれていることがどのような効果を引き出しているか、考察を深めることができている。**  　イ）文章を書いたり、発表をしたりする際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）「羅生門」を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  　イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えると共に、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。  ｃ　教材の内容、他者との関係、小説のもつ「論理性」に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 |
| 5 | 第２章　ことばは世界をつくる | ことばの働きを確認する  【書くこと】 | 【実践】ことばの境界を意識しよう | 1 | ①現在、学校や自分の生活の中で、「境界」があると感じている場所を考える。  ②自分の内面や、相手と自分との間で「境界」があると感じた場面を考える。  ③「境界」がはっきりしないと感じることについて具体例を挙げて考える。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。**とりわけ、言語が「境界」を作るという働きについて理解している。**  イ）文章を書く際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）学習活動を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【書くこと】  　ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  　イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えると共に、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。  c　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／「ことばとは何か」ということに関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 |
| 6 | 第３章　主張を読み取る | 新しい視点を手に入れる  【読むこと】 | デジタル社会 | 1 | ➀「パノプティコン」「超パノプティコン」「ポスト・パノプティコン」のそれぞれの内容を簡潔にまとめ、数人のグループになって話し合う。  ②「質量」「メディア」「権力」という術語の意味を、複数の辞書で調べる。  ③②で調べた術語について、辞書で示されている意味と、本文中の意味の違いを考える。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）さまざまな術語が出てくる本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【読むこと】  　ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  c　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／術語に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 |
| 6 | 第３章　主張を読み取る | 新しい視点を手に入れる  【読むこと】 | 開かれた文化 | 2 | ➀教材本文の「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の違いを二つの具体例に即してまとめる。  ②イスラームの女性がスカーフを身に付けることについて、「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の立場から、それぞれ説明する。  ③さまざまな国や地域の風習や文化について調べ、表現に注意しながらその違いをまとめる。 | １）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「　」を用いた語句と用いない語句の使い分けを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 |
| 6 | 第３章　主張を読み取る | 新しい視点を手に入れる  【読むこと】 | システムと変異 | 2 | ➀本文中の図解を参照しながら、DNA 複製について本文に書かれていることを、筆者の用いたキーワードを使って説明する。  ②筆者が「」をつかって表現しているのはなぜか、話し合う。  ③本文におけるキーセンテンスをノートに書き出し、周囲の人と見せ合って確認する。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）キーワードやキーセンテンスを読み取り、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【読むこと】  　ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  c　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／キーワードやセンテンスの読み取りに関心をもっている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 |
| 6 | 第３章　主張を読み取る | 新しい視点を手に入れる  【読むこと】 | 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう | １ | 一冊の本から引用する一節を決め、フリップに提示して、その一節を選んだ理由や意図を発表する。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「引用」という活動を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）活動のノートに内容をまとめたり、発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ　【読むこと】  　ア）引用する文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  c　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／「引用」ということの効果に関心をもっている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 |

| 月 | | 単元名 | | 単元の目標 | 学習内容（教材） | | 配当時間 | | 学習活動 | 評価基準・評価方法 | | 評価の方法 | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a 　（知識・技能）  ｂ　（思考力・判断力・表現力）読・書・話聞  ｃ　（主体的に学習に取り組む態度） | |
| |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 7 | 第４章　自分のことばで伝える | 書くことで世界がつながる  【書く】 | ことばがつくる女と男 | ２ | ➀本教材の各部分が全体の構成上どのような役割を果たしているか、考える。  ②どんな言語行為がアイデンティティをつくっているのか、実際に小説・漫画・映画などの中から登場人物の発言を抜き出して、ことばづかいから分かる人物像をメモする。  ③グループで話し合い、「指標性」の視点からことばづかいとアイデンティティについて文章にまとめる。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本教材を通して、言葉には、アイデンティティなどの認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）文章を書いたり、発表をしたりする際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／言葉とアイデンティの問題に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | ９ | 第４章　自分のことばで伝える | 書くことで世界がつながる  【書く】 | 誰かの靴を履いてみること | 3 | ➀本文中の会話文と描写が果たしている効果について話し合う。  ②過去に体験した出来事の中から、特に印象に残っていて、人に伝えたいものを一つ挙げる。  ③　➀ではなしあった筆者の工夫をふまえて、体験談を文章にして発表する。そして、互いの発表を聞いた感想や、文章にすることで自分自身がきづいたことなどを話し合う。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）臨場感あふれる筆致で描かれた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）本教材に用いられている話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、会話や描写など、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 | | 9 | 第４章　自分のことばで伝える | 書くことで世界がつながる  【書く】 | 贈り物と商品の違い | 2 | ①本文中の会話部分以外のカギカッコについて、どんなことばに付されているか、何を基準にどのような目的で付されているか、考え、話し合う。  ②身近なお祝い事の習慣を取り上げ、そこにどのような演出がほどこされているか、その意味を調べる。  ③　②で調べたことについて、カギカッコの機能を適切に用いながら、400～600字のエッセイを書く。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「贈り物」と「商品」という言葉が示すものについて解き明かした本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）話し合いや発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、カギカッコの用い方など、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、「贈り物」と「商品」それぞれについての比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／カギカッコの用い方に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 | | 9 | 第４章　自分のことばで伝える | 書くことで世界とつながる  【書く】 | 【実践】メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう | １ | グループ内で発表を行い、メモを取る。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）メモやノートをとることを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）話し合いや発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）発表の際には、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）発表の際には、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）発表の際には、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  ｃ　メモをとる学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | ９ | 第５章　話し合いから議論へ | 説得することばを身につける【話す・聞く】 | 〈私〉時代のデモクラシー | ２ | ➀「近代社会」と「伝統的な社会」を比較し、「近代社会」の特徴を箇条書きでまとめる。  ②「デモクラシー」（民主政治）の成り立ちについて調べ、その結果をグループで共有する。  ③筆者の意見を踏まえて、関心を持った社会問題やニュースについて議論する。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「デモクラシー」という言葉が示す概念について解き明かした本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、「贈り物」と「商品」それぞれについての比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。**また、そのような表現がどのような効果を生み出しているかを理解し、説得力のある表現とはどのようなものかを理解している。**  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）社会についての自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）デモクラシーなど実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 | | 10 | 第５章　話し合いから議論へ | 説得することばを身につける【話す・聞く】 | 良識派 | ２ | ①故事成語の語句の背景を調べ、寓話が説得力と深い関係をもつことを確認する。  ②風刺や寓意、たとえ話を効果的に用いて、社会的な事件や出来事についてスピーチをしてみる。  ③②のスピーチについて説得力があったか、互いに評価する、 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**寓話という形で社会を鋭く風刺し「デモクラシー」の弱点について描いた本教材を通して、**言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、寓話や比喩などを話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。**また、寓話を含む、そのような表現がどのような効果を生み出しているかを理解し、説得力のある表現とはどのようなものかを理解している。**  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）社会について、寓話を用いて自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 | | 10 | 第５章　話し合いから議論へ | 説得することばを身につける【話す・聞く】 | 人新世における人間 | ２ | ①本文を読んで、科学者たちが提唱した「人新世」という新しい語が、社会にどのような視点を提供したのか、考える。  ②事典などを用いて「地層」に基づく年代区分について調べ、まとめる。  ③もし自分が「未来の地質学者」ならば、２１世紀初めの地球環境をめぐる議論をどう位置づけるか、自分なりに想像してまとめる。 | １）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本教材を通して、新しく生み出された言葉が社会に与えた影響を考え、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・中間考査 | | 10 | 第５章　「話し合い」から「議論」へ | 説得することばを身に付ける【話す・聞く】 | 【実践】「議論する力」を育てよう | １ | テーマを決めて議論する | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）議論を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）議論の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  （３）我が国の言語文化に関する事項  ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し、使っている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  イ）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　議論の学習に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | 11 | 第６章　前提を疑う | 情報の背景を読み解く【読む】 | 失われた両腕 | 2 | ①一種の美術評論であるが、筆者の感動がこの文章の根底にあることを読み取る。  ②倒置や逆説による文の構成や言い換えの表現が実際には一つのことであることを理解する。  ③両腕がないことがなぜミロのヴィーナスを「魅惑的」にしているのかということについて考える。 | a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）「失われた両腕」を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や逆説などの婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。とりわけ逆説的な表現がもたらす効果を理解している。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　推論の学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 11 | 第６章　前提を疑う | 情報の背景を読み解く【読む】 | 魔術化する科学技術 | １ | ➀本文を三つの意味段落に分け、各意味段落に小見出しをつける。  ②三つの意味段落の内容を、キーワードに注意しながらそれぞれ100字以内で要約する。  ③各意味段落の内容をつなぎ合わせて、本文全体の要約文を200字以内で書く。出来上がった要約文については、周囲の人と読み合わせて違いを確認する。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）キーワードを駆使して論述した本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）キーワードを用いた文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や逆説などの婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 11 | 第６章　前提を疑う | 情報の背景を読み解く【読む】 | マルジャーナの知恵 | １ | ➀「マルジャーナの知恵」を参考に、グループで、印象に残っている昔話や寓話、エピソードを持ち寄り、なぜそれらが語り継がれてきたのかを話し合う。  ②➀の物語の中に、現代の私たちにとってのどのような意味や教訓が発見できるか、話し合う。  ③②で見つけた意味や教訓が明確に伝わるように表現の仕方を工夫して、グループごとに物語を発表する。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）寓話やエピソードを効果的に用いた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）寓話やエピソードを用いた文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や逆説などの婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  　オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 12 | 第６章　前提を疑う | 情報の背景を読み解く【読む】 | 【実践】議論の前提を意識化しよう  【参考】ナイチンゲールが作成した統計図表 | １ | 自分が関心をもったテーマについて記事をもちより、主張を支える根拠や、筆者の前提について話し合う。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）実践を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や逆説などの婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  　オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）持ち寄った文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　議論の前提を明確化する学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | 12 | 第７章　受け止めること、伝えること | 受信する力、発信する力を伸ばす【話す・聞く】 | 記憶する体 | ２ | ➀「記憶する体」を踏まえて、目を閉じて、手で机に触れ、隣の人に机の状態を説明する。  ②通学路や校舎内を観察し、障害を持っている人の立場に立って、改善できる点を話し合う。  ③写真を用意し、その写真を文字だけで書いて発表する。聞く側は、実際の写真と比較して思い描いていたものとの違いを発表する。伝え方によりどのような違いが生まれたか振り返る。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**インタビューによって書かれた本教材を通して、他者の言葉を聞き取る力を養い、**言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）**実際に行われたインタビューをもとにまとめられた本教材から、**目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  ウ）話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 12 | 第７章　受け止めること、伝えること | 受信する力、発信する力を伸ばす【話す・聞く】 | 忘却への抵抗 | 2 | ①第五福竜丸について書籍やインターネットで調べ、次代へ継承するべきだと感じたことをグループ内で話し合う。  ②「ある出来事」とされる出来事について具体例を挙げ、その出来事における「忘れてはならない『記憶』」について発表する。  ③身の回りにある使い古した道具や古い建造物について、その来歴を想像し、文章にする。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**自らの観察を通して、過去の遺物から読み取れることを表現した本教材を通して、**言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）**実際に見て触れて情報を集めた本教材を通して、**目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  ウ）話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 12 | 第７章　受け止めること、伝えること | 受信する力、発信する力を伸ばす【話す・聞く】 | 待ち伏せ | 2 | インタビューの状況に応じてどのような注意やルールが必要か、箇条書きにしてまとめる。その上で、グループでテーマを決めてふさわしい人物にインタビューをする。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**ベトナム戦争について語れないことを語ろうとした本教材を通して、インタビューを行っても、相手には語れない言葉があること、それでも語り伝えようとする**言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）**本教材から、「語れないこと」ということを学び、それに配慮してインタビューを行うために、**目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  ウ）話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 12 | 第７章　受け止めること、伝えること | 受信する力、発信する力を伸ばす【話す・聞く】 | 【実践】インタビューの作法  【参考】ジャッジのあり方 | １ | インタビューをする。 | a （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）インタビューを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）インタビューを通して、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）ノートに内容をまとめたり発表したりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【話すこと・聞くこと】  　ア）目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。  ウ）話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | 1 | 第８章　深層を探ることば | ことばの連想から文章を書く【書く】 | 「幸福」の概念的変容 | 2 | ①「イノベーションが重視されだした二〇世紀以降」の時代とはどのようなものか、その特徴をまとめる。  ②本文の例とは別に、古代・中世・近代それぞれの時代で「理想の人生」がどのように変化してきたか、その背景とともに調べ、文章にしてまとめる。  ③自分にとっての「幸福」とは何か、ノートにまとめる。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本教材を通して、抽象的な事柄についても言葉にすることで、言葉が認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で抽象的な事柄について具体例を用いて文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で抽象的な事柄について具体例を用いて文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）本教材を通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ）学習活動を通して、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／具体と抽象の関係に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 1 | 第８章　深層を探ることば | ことばの連想から文章を書く【書く】 | 身体、この遠きもの | ３ | ➀「身」という語を含む慣用句やことわざを辞書などを使って調べ、見つかったものを書き出す。  ②本文中の具体例を取り上げ、それは何を理解させるために用いられているのか、確認する。  ③筆者の主張の意味について、自ら具体例を挙げながら、200字以内で書く。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**普段意識していない「身体」というものについてあえて言語化し、読者に意識を向けさせた本教材を通して、**言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で抽象的な事柄について具体例を用いて文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で抽象的な事柄について具体例を用いて文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）本教材を通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ）学習活動を通して、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／具体と抽象の関係に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 1 | 第８章　深層を探ることば | ことばの連想から文章を書く【書く】 | 夢十夜 | 4 | ①「夢十夜」の魅力を紹介するキャッチコピー（広告文）を作る。  ②キャッチコピー（広告文）に写真や画像などを加えて、「夢十夜」を紹介するスライドを作成する。また、スライドを作成する際には、どのような場で誰に向かってその魅力を伝えるのかを具体的に設定する。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）**「近代」という時代を「夢」という無意識下の状況に仮託して描き出す本教材を通して、言葉には、無意識を言語化することで世界を把握し、**認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中でキャッチコピーを書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で抽象的な事柄について具体例を用いて文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）「夢十夜」の魅力を伝えるプレゼンテーションを通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）「夢十夜」の魅力を伝えるプレゼンテーションを通して、引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ）学習活動を通して、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／具体と抽象の関係に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 1 | 第８章　深層を探ることば | ことばの連想から文章を書く【書く】 | 【実践】ことばをつないで文章を書いてみよう | 1 | ①教科書に揚げられた画像から一つ選び、思いつくことをすべて書き出す。  ②書き出したことばの断片を、さまざまな種類や色の線や矢印などの記号で結んで、イメージマップをスクル。  ③イメージマップから三つの文を書く。そこから書くとなる一文＝主題文（キーセンテンス）を選び、短い意見文（またはストーリー）を二〇〇字程度で書く。  ④数人のグループを造り、③で書いた文章を通して自分の考えが伝わるか、相互に評価する。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本活動を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。  イ）本活動を通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ）学習活動を通して、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができている。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／具体と抽象の関係に関心を持っている。〈発問・授業時の態度〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | 2 | 第９章　情報と社会 | 情報・資料を読み解く【読む】 | 来るべき民主主義 | 2 | ➀自身が感銘を受けたことのある他者のことばをメモに書き出す。  ②グループ内でメモを共有し、質問・説明し合って、理解を深める。  ③一つのことばを選び、身近な問題にあてはめて短い文章にまとめる。 | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本教材を通して、筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  　ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 2 | 第９章　情報と社会 | 情報・資料を読み解く【読む】 | 主体という物語 | 2 | ➀主張したい仮説をたてる。  ②➀で立てた仮説について関連する情報を集め、仮説を裏付けるものがないか分析する。  ③仮説を立証できる資料が揃ったら、グループを作ってリサーチ結果を発表し合い、説得力ある分析になっているか、根拠に問題点はないかなど、互いに検証する。 | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）本教材の仮説を立てる手法を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）本教材を通して、指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  　ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【読むこと】  ア）評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 2 | 第９章　情報と社会 | 情報・資料を読み解く【読む】 | 【実践】社会をつくることば――情報の整理と活用  【参考】アフガニスタンの診療所から | 1 | 新聞記事を読み解き、話し合う。 | a 　（１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）新聞記事を読み解き、話し合う活動を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  ウ）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  カ）本学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができている。  （２）情報の扱い方に関する事項  　ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  ｂ【読むこと】  ア）新聞など実用文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。  イ）目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。  ｃ　情報を整理したり活用したりする学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | | 3 | 第10章　主張を論理的に伝える | 筋道をたてて論述する。【書く】 | リスクと近代社会 | 2 | ①本文中にある筆者の問いかけとその解答を順序立ててまとめ、要旨を二〇〇字以内で書く。  ②現代社会の具体的なリスクを一つ挙げ、考えられる対策とその問題点について分析し、自分の考えをまとめる。  ③「リスク社会」に生きる私たちに求められていることは何か、本文を踏まえた上で、考察を文章にまとめる。 | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）意見文を書くことを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）意見文を書く際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  （２）情報の扱い方に関する事項  　ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  （３）我が国の言語文化に関する事項  　ア）実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ）目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | | 3 | 第10章　主張を論理的に伝える | 筋道をたてて論述する。【書く】 | 贅沢の条件 | 1 | ➀グループで「機械的時間」と「手仕事的時間」にあてはまる具体例について話し合う。  ②➀で挙げた具体例を「機械的／手仕事的」という二項対立を使って400字以内でまとめる。  ③文章を互いに読みあい、推敲する。 | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）二項対立を用いた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  　イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  （２）情報の扱いに関する事項  ア）二項対立の文章を書く際に、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）本教材を通して、推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ)目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。  ｃ　教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 |   ３ | 第10章　主張を論理的に伝える | | 筋道をたてて論述する。【書く】 | | | 名づけと所有 | | 1 | ➀「アメリカ」ということばの働きについて本文を踏まえてまとめる。  ②自分の住んでいる都道府県名が、いつ、どのような形で決められていたのか、またそれ以前はどのように呼ばれていたのかを調べ、その意味を考える。  ③現代社会を象徴するようなことばを選び、その成り立ちや働きなどを調べ、ことばの力について話し合う。 | １）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）名づけという言語化する活動によって所有がおこなわれるということを解き明かした本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  オ）引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め、使うことができる。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ)　目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。  ｃ教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・期末考査 | |
| ３ | 第10章　主張を論理的に伝える | | 筋道をたてて論述する。【書く】 | | | 【実践】対比の働きを理解しよう | | １ | ➀対比の構造を捉える。  ②二つの文章を対比する。 | １）言葉の特徴や使い方に関する事項  ア）対比を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。  イ）発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。  ウ）比較する文章を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。  エ）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  オ）論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。  （２）情報の扱い方に関する事項  ア）主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  イ）発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。  ウ）推論の仕方を理解し使うことができる。  エ）情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。  ｂ【書くこと】  ア）目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。  イ）読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。  ウ）自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。  エ)目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。  ｃ　対比の学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表 | |